

2020年12月7日

パブリッククラウド上に HiRDB 環境を迅速に整備し、基幹データ活用を加速する「HiRDB Cloud Service」を販売開始

基幹データを活用した新サービスの開発と安定稼働を実現し、企業や公共機関のデジタル化に貢献

株式会社日立製作所(以下、日立)は、パブリッククラウド上にノンストップデータベース「HiRDB」の環境を迅速に整備し、基幹データ活用を加速するマネージド・データベース・サービスとして「HiRDB Cloud Service」(以下、本サービス)を、12月7日より販売開始します。第一弾として、Amazon Web Services(以下、AWS)上において、HiRDB が保有する基幹業務のデータを活用した新サービスの開発や安定稼働を支援するサービスを提供します。これにより、パブリッククラウド上で既存のアプリケーション資産を活用した新サービスを迅速に提供でき、企業や公共機関のデジタル化に貢献します。

現在、電力・交通・金融・行政といった社会インフラ分野を含めた多くの企業や組織において、デジタルトランスフォーメーションに向けた取り組みが加速し、ニューノーマルに対応する新たなサービスの迅速な立ち上げや、さまざまなサービスのオンライン化が喫緊の課題となっています。

日立の HiRDB は、自社開発の高信頼な基幹系リレーショナルデータベースとして、25年以上にわたり社会インフラを含む多くの基幹業務を支えてきました。また、近年、基幹業務のクラウド移行のニーズに対しても多くの実績を重ねてきました。今回、これらの活動を通して蓄積してきたノウハウを取り込み、本サービスを提供します。

日立は今後、本サービスの Microsoft Azure 対応や HiRDB 環境の構築・運用の自動化機能などを強化するとともに、お客さまの基幹業務のクラウド移行を支援するサービス・ソリューションを拡充し、デジタルトランスフォーメーションの実現に貢献していきます。

「HiRDB Cloud Service」の特長

1. 既存の HiRDB データを活用した新サービスの開発基盤をパブリッククラウド上で迅速に整備可能

HiRDB の利用経験が浅い IT 部門担当者でも、お客さまの専用ポータルから、構成・容量など最小限の項目を選択するだけで、約 10 分で AWS 上に HiRDB 環境を構築し利用開始できます。また、同じポータルから、HiRDB 環境のバックアップや容量の拡張^{*1}などの運用設定も可能です。日立のインフラ設計や運用設計のノウハウが取り込まれているため、お客さまは複雑な設計をせずに新サービスの開発基盤や本番用基盤に適した高信頼な HiRDB 環境を構築できます。

さらに、専用ポータルから、アプリケーション開発などに必要な HiRDB クライアントプログラムを入手できるため、お客さま環境で稼働する各種アプリケーションに適した HiRDB 接続用のドライバやライブラリを容易に準備できます。加えて、会話型 SQL 実行プログラム(HiRDB SQL Executer) も入手できるため、HiRDB 内のデータベースの編集や、既存の HiRDB データをオンプレミス環境から AWS 上に転送する作業などに、すぐに着手できます。

*1 ストレージ容量の拡張は、2021 年度に提供予定

2. 既存の COBOL 資産などを引き継ぎながら、新たな業務サービスを効率的に開発可能

HiRDB は幅広い開発言語に対応しているため、AWS 上で既存の COBOL 資産などを引き継ぎながら、新たな業務サービスを Java などの一般的な開発言語で効率的に開発することが可能です。また、HiRDB では、上位互換性を保証しているため、データベースのバージョンアップ時に既存アプリケーションの修正工数を抑えることができます。これらにより、お客さまは、新サービス開発に集中するとともに、継続的に業務開発の効率化を図ることができます。

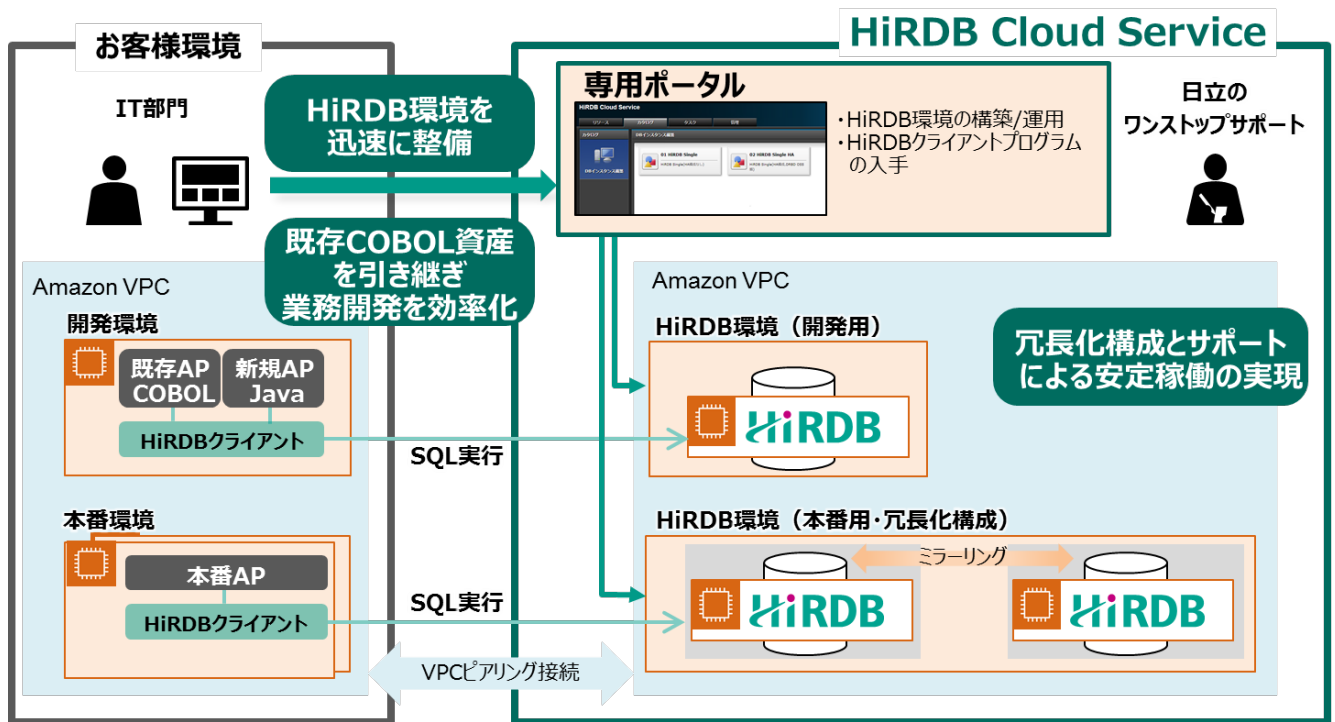
3. 日立の高信頼化技術とサポートにより、パブリッククラウド上での業務サービスの安定稼働を実現

(1) 基幹業務を支えてきた冗長化構成をパブリッククラウド上で利用可能

社会インフラ分野で実績のある HiRDB と高信頼化システム監視機能「HA モニタ」を組み合わせた冗長化構成を AWS のアベイラビリティゾーンをまたいで配置し、データを同期した系切替えを利用できるため、サービスの停止リスクを低減します。これにより、データベースが停止した場合だけでなく、スローダウンした場合にも、自動的に待機系に切り替えることで、業務サービスを継続できます。

(2) 基幹業務システムをワンストップで支えてきたサポート体制をパブリッククラウドでも利用可能

社会インフラ分野を含む基幹業務システムの安定稼働をワンストップで支えてきた日立のサポート体制を、パブリッククラウド上で稼働する本サービスでも利用できます。障害発生時の要因の一次切り分けや障害対応、専用ポータルでの操作方法などを日立のサポートチームが支援します。これにより、HiRDB 環境と AWS にまたがる複合的な問題が発生した場合も、日立の総合的な技術支援により、迅速な復旧が可能です。



AP : アプリケーション VPC : Virtual Private Cloud

(Amazon Web Servicesの場合)

図 : 「HiRDB Cloud Service」の利用イメージ

「HiRDB Cloud Service」の価格および提供開始時期

名称	概要	価格(税別)	提供開始時期
HiRDB Cloud Service			2021年 2月1日
HiRDB Cloud Service/ Base	お客さま専用ポータルの利用 ^{*2} ・DB インスタンス ^{*3} の構築および管理 ・DB インスタンス ^{*3} 接続に必要なクライアント プログラムの入手	個別見積 (定額)	
HiRDB Cloud Service/ Database Instance	・構築したDB インスタンス ^{*3} の利用 ・DB インスタンス ^{*3} に対するバックアップなど の運用	個別見積 (従量課金 ^{*4})	

*2 日立サポート 360/Base の契約が必要

*3 DB インスタンス : Amazon EC2、Amazon Elastic Block Store(EBS)を利用した HiRDB 環境

*4 当該月に利用した DB インスタンスの構成やストレージ容量に応じて変動

「HiRDB Cloud Service」の Web サイト

https://www.hitachi.co.jp/hirdb/solution/cloud_service/index.html

商標注記

- ・ Amazon Web Services、“Powered by AWS”ロゴ、および AWS、Amazon EC2、Amazon VPC は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- ・ Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部
お問い合わせフォーム:<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上